

部会活動報告

「地域における青少年健全育成推進会議」

- (1) 地域における青少年健全育成推進会議について
- (2) 事業実施報告
 - ・ 青少年応援プロジェクト@地域
 - ・ 地区委員会アドバイザー派遣
 - ・ 青少年健全育成地区委員会等モデル事業
 - ・ 中学生の主張東京都大会
 - ・ あいさつ音楽劇「あいさつは魔法の力」



(1) 地域における青少年健全育成推進会議について

○東京都では、次代を担う青少年を地域全体で健全に育成するために、次のような事業を進めています。

取組方針 子供達の規範意識やコミュニケーション力、他者を思いやるダイバーシティ意識を育む取組を推進

【東京子供応援協議会】
【地域における青少年健全育成推進会議】

区市町村と連携し地域を支援

【地域における青少年応援事業補助】
区市町村が実施または助成する 地域交流、普及啓発、体験・経験の場提供（事業）を対象に助成（1区市町村100万円まで）
【青少年応援プロジェクト@地域】
地域の中で青少年のダイバーシティ意識を育むため、講演会と交流体験を実施

地区委員会の活動を支援

【地区委員会アドバイザー派遣】
地区委員会を対象に、地域活動の活性化に役立つ様々な知識をもつ専門家を派遣
【青少年健全育成地区委員会等推進モデル事業】
地域社会、家庭、学校が連携し、青少年を地域ぐるみで育成する取組を「推進モデル」として指定・紹介

学校と連携し学びの機会を提供

【中学生の主張東京都大会】※国事業
中学生を対象に、自分の考えや意見等をまとめた作文を募集し、スピーチコンクールを開催
【あいさつ音楽劇】※小学校対象
小学生を対象に、音楽劇を通じて、社会のルールやあいさつの大切さを学ぶ機会を提供

区市町村等と連携し地域を支援



(2) 事業実施報告：区市町村との連携

青少年応援プロジェクト@地域

地域の中で、外国人や国際経験豊かな方々を通して“多文化への理解を深める”、高齢者や障害者など様々な人との交流により“他者を思いやる”、スポーツや職業体験から“将来への視野を広げる”など、青少年のダイバーシティ意識を育みます。

令和5年度実施例

テーマ：障害者への理解

日時：令和5年6月28日（水） 午後7時から午後9時まで

会場：大田区糀谷特別出張所

参加者：35名

講師：白石 浩一 氏（一般社団法人発達障害支援アドバイザー協会代表理事）

第一部：【体験会】VR（Virtual Reality）を使った自閉症体験会

○VRゴーグルを用いて、参加者全員に発達障害の特性を体験してもらい、講義の導入としました。

第二部：【講演会】「発達障がい」についての理解を深める

○第一部での体験を踏まえつつ、発達障害の特性や、合理的配慮について事例を交えつつ講演を行いました。

【参加者の感想】

- 初めての事でしたし、発達障がいの方の目線が分かり良かったです。
- どの様に感じるのかVRで体験することで理解しやすいと思いました。
- 普段目にする事もあり、困っている様子など対応を困る事もあったので、とても分かりやすく接し方が勉強になりました。
- 寄り添う支援はとても大切だけれども、周りの理解が必要だと感じました。

令和5年度実施状況
14区市町村にて計16回実施



(2) 事業実施報告：地区委員会への支援

地区委員会アドバイザー派遣

地域の中で青少年健全育成の中心的役割を担う地区委員会に対し、地域の課題解決に必要な様々な知識をもった専門家が講師として講座を実施することで、地区委員会の活動の活性化を図ります。

令和5年度実施状況
9区市にて計10回実施

令和5年度実施例（令和5年度稲城市青少年育成地区委員会合同研修会）

日時：令和5年11月26日（日）10:30～12:00

会場：稲城市地域振興プラザ

参加者：22名

講師：千葉 晋也（株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役（共同代表））

内容：

チラシづくりからSNSまで“活動が伝わる”広報のコツを学ぼう

- ◆SNSなどを活用した広報や失敗しないチラシづくりのコツなどについて解説しました。
- ◆参加者が実際のイベントで使用したチラシを発表し、講師からのアドバイスとともに参加者全員で効果的な広報について共有しました。



【参加者の感想】

- すぐにでも活用できそうな内容だったのでおもしろかったです。さっそく何から取り組もうかワクワクしました。
- 今まで悩みながら作成していた事へのアドバイスをいただけてうれしかったです。

(2) 事業実施報告：地区委員会への支援

青少年健全育成地区員会等推進モデル事業

都内の地域社会、家庭、学校が連携し、青少年を地域ぐるみで育成する取組を「推進モデル」として指定し、広く都内各地域に紹介しています。

令和5年度は3つの取組を指定しました。

事例 1 世田谷区青少年砦地区委員会「親子でボールと遊ぼう！」

事例 2 江戸川区青少年育成小松川平井地区委員会「小松川平井マラソン大会」

事例 3 八王子市青少年対策城山地区委員会「城山防災・スポーツフェスティバル」

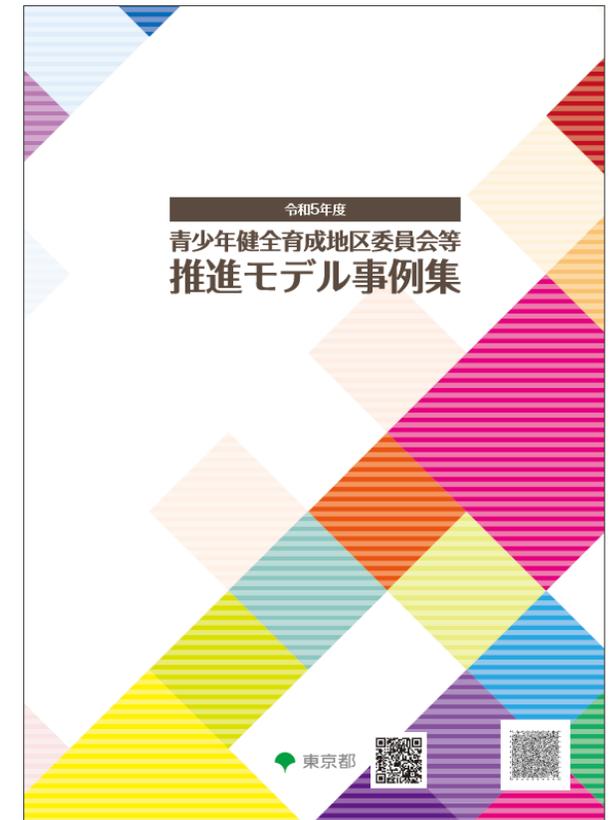
【参考】主な指定条件

- 地域社会、学校、関係機関等と連携を図った取組
- 青少年の正義感や倫理観を育むと共に、他者を思いやり、多文化への理解を深めるなど多様性の意識を育むために実施する取組（アまたはイに該当するもの）
 - ア 地域の中で青少年を育てる取組
 - イ 青少年の体験を豊かにする取組

●令和6年度「青少年健全育成地区委員会等モデル事業」募集

【スケジュール（予定）】

- ・ 募集（令和6年3月～5月）
- ・ ヒアリング（令和6年6月）
- ・ モデル指定、モデル事例集原稿依頼（令和6年7月）
- ・ モデル事例発表（令和7年2月）



(2) 事業実施報告：学校との連携

中学生の主張東京都大会

中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身に付けることを目的として、中学生の作文とスピーチのコンクールを実施しています。

令和5年度実施状況

応募総数：5,297名

発表者：10名

日時：令和5年9月10日（日）午後2時から午後4時50分まで

場所：東京都議会議事堂1階 都民ホール



※本事業は独立行政法人国立青少年振興機構より委託を受けて実施しています。

大会当日の様子は東京都の公式YouTube【東京動画】で公開しています。（10月末まで）

【開会・挨拶】<https://tokyodouga.jp/afetiddicxo.html>

【発表】https://tokyodouga.jp/zc_qqeinamu.html

【表彰式】<https://tokyodouga.jp/mh8rl5zf824.html>

受賞者の作文は、「令和5年度中学生の主張東京都大会発表文集」に掲載しています。

HPよりダウンロードしてお読みいただけます。

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/tomin_anzen/jakunenshien/chiiki-ikusei/ikusei-jigyuu/syucyou/index.html

当日の様子

事前の作文審査で選ばれた10名は、社会的な課題をはじめ、日常で感じた疑問や友人関係など様々なテーマで“主張”を行いました。それぞれの表現で思いや考えを伝えたスピーチは、中学生ならではの視点や豊かで鋭い感性に溢れ、会場にいる方の心に響きました。

**令和6年度「中学生の主張東京都大会」
9月8日（日）東京都庁にて開催予定**

(2) 事業実施報告：学校との連携

あいさつ音楽劇「あいさつは魔法の力」

都内の小学校において、専門家による「あいさつ」を題材とした児童参加型の音楽劇を上演することにより、児童が「あいさつをすることの大切さ」「相手を思いやることの大切さ」等を学ぶとともに、本物に触れる機会としています。

また、保護者や地域関係者などの大人に対しても「あいさつをすることの大切さ」等を改めて考える契機とし、学校と地域が連携して青少年健全育成に取り組む気運を醸成しています。

【児童の感想】

- ・ 劇を見ることで、あいさつのすごさ、大切さが良く分かりました。
- ・ 勇気を出してあいさつをしたら、なんだか気持ちが明るくなって、それ以来あいさつができるようになったし、毎日が楽しい！！となりました！！

【児童への影響】

- ・ あいさつの回数が増えたり、声が大きくなったりと、その子なりに挨拶をよりよくしようとする姿が見られました。
- ・ すれ違いざまのあいさつや来校者へのあいさつはもちろんよくなっています。効果もさることながら、心を育ててくださった一日でした。



音楽劇の様子（令和6年2月17日@大田区立矢口小学校）



あいさつキャラクター
ターえくぼちゃん

令和5年度実施状況(令和6年3月31日現在)

都内の公立小学校12校で実施
参加人数：計5438名